

### 国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	東海北陸地区 (主担当大学：名古屋工業大学、名古屋大学、岐阜大学、富山大学)
事業名	BCP（ビジネスコンティニュイティプラン）に関する研修会
事業目的・趣旨	大学図書館では、災害発生時の対応として、危機管理マニュアルの作成等対応が進められている。有事後の対応についても、大学BCPにより継続すべき事業や復旧計画が定められ、大学図書館もこれに基づく対応が必要となる。各大学や図書館での防災訓練やBCP策定に向けた活動を踏まえ、災害対策、危機管理の専門家による防災対策や災害発生時の行動等の基本についての話を伺うことで、防災意識を喚起し、BCP対応の参考とする。
実施内容	開催日時：平成28年10月6日（木）13:30～16:45 会 場：名古屋大学附属図書館5階多目的室 主 催：東海北陸地区国立大学図書館協会 内 容：講演「大規模地震を想定した大学の災害対策」 講師 飛田 潤 氏（名古屋大学災害対策室長） 講演「大学に求められるBCPの概要と課題～限られた経営資源による防災活動との共存と図書館の役割」 講師 渡辺研司 氏 (名古屋工業大学リスクマネジメントセンター防災安全部門長) 質疑・意見交換
事業の成果 (アンケート調査結果、事業への意見・感想等)	参加者数 23大学 46名 ＜アンケート調査結果＞ (評価)「大変満足」15名 「満足」15名 「普通」2名 (主な感想) ・防災対策とBCPの違いが分かった。 ・自館での対策の策定の必要性を感じた。 ＜事業への意見・感想＞ アンケートの結果、BCP策定への取組みに各館で差があることが分かった。具体的な例を示す研修を実施することで、情報共有と地区として取組への促進を図ることができた。
経費	講師謝金 27,000円 雑 費 605円 合 計 27,605円